

平成24年11月21日
福島県農地管理課

1 大柿ダム

(1) 現状

- ① 被災状況
- ・東日本大震災により、ダム堤体天端舗装部に亀裂が発生
 - ・平成24年6月の台風4号の影響により管理道路の一部が崩落
- ② 貯水状況
- ・現在の貯水位は標高約140m（2,500千m³：貯水率14%）に下げている。
- ③ 貯水地の放射性物質の濃度及び放射線量

		平成24年3月採取 (3月発表)	平成24年7月採取 (10月発表)
水質 (Bq/L)	ヨウ素	不検出	不検出
	セシウム134	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	不検出
空間線量(μSv/h)		14.9	16.3

※環境省「福島県内の公共用水域における放射性物質モニタリング」調査結果

(2) 管理状況

- ① 管理者
- ・福島県（請戸川土地改良区に委託）
- ② 管理内容・実施頻度（H23年6月以降）
- ・毎月3回程度、ダム堤体、管理設備などについて点検
 - ・一定規模以上の地震、大雨後の臨時点検

(3) 今後の対応・計画

平成24年6月の豪雨により管理用道路が被災したが、応急復旧し、ダム本体の復旧には影響のない状態となりました。

現在は、詳細調査に先立って、環境省が管理者や調査作業員の放射線被ばく低減のための先行除染を実施しています。完了後、東北農政局が中心となり、堤体内の被災状況の詳細確認と被災原因の解析を行い、専門家を交えて復旧計画を検討する予定です。

復旧事業の進め方については、東北農政局・県・市町村・土地改良区等関係機関で協議を行い、検討していきます。

なお、管理については(2)のとおり、県、請戸川土地改良区で担当します。



(左) 管理道路被災箇所（現在は復旧済）（H24.6月撮影）、(右) 堤体被災調査風景（H24.10月撮影）

2 滝川ダム

(1) 現状

① 被災状況

- ・東日本大震災によるダム堤体の被災はないものの、管理道路法面一部崩落（平成23年台風15号による被害）
- ・平成24年6月の台風4号により、ダム下流広場で法面崩落などの被害

② 貯水状況

- ・貯水位：標高197.35m/2,470千m³（貯水率41%）

③ 貯水地の放射性物質の濃度及び放射線量

		平成24年3月採取 (3月発表)	平成24年7～9月採取 (10月発表)
水質 (Bq/L)	ヨウ素	不検出	不検出
	セシウム134	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	不検出
空間線量(μSv/h)		3.7	3.7

※環境省「福島県内の公共用水域における放射性物質モニタリング」調査結果

(2) 管理状況

① 現在の管理者

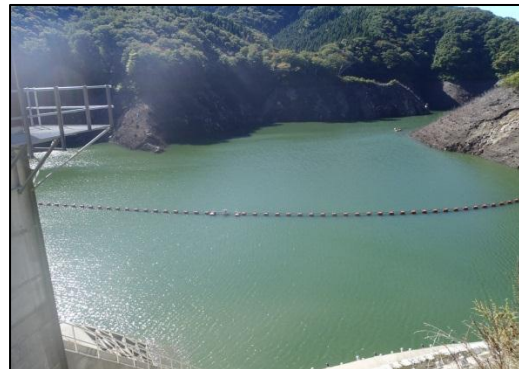
- ・福島県

② 管理内容・実施頻度（H23年6月以降）

- ・毎月1日以上、堤体、管理設備などについて点検
- ・一定規模以上の地震及び大雨後の臨時点検

(3) 今後の対応・計画

引き続き県で上記の点検を行います。なお、災害復旧などの対応については未定です。



((左) 滝川ダム堤体 (H24.10月撮影)、(右) ダム湖湖面 (H24.10月撮影))

3 坂下ダム

(1) 現状

- ① 被災状況
 - ・ダム堤体の被災無し
 - ・インクライン脇の護岸工一部破損
(※インクライン＝管理用船舶を湖面に下ろすために傾斜面に設置されたレール)
 - ・管理道路法面崩落 (2箇所) (台風15号による被害)
- ② 貯水状況
 - ・流入している水の一部が洪水吐から越流している状態
- ③ 貯水地の放射性物質の濃度及び放射線量

		平成24年3月採取 (3月発表)	平成24年7～9月採取 (10月発表)
水質 (Bq/L)	ヨウ素	不検出	不検出
	セシウム134	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	2
空間線量 (μ Sv/h)		1.81	1.16

※環境省「福島県内の公共用水域における放射性物質モニタリング」調査結果

(2) 管理状況

- ① 現在の管理者
 - ・大熊町及び大熊町土地改良区
- ② 管理内容・実施頻度 (H23年6月以降)
 - ・毎月1日以上、堤体、管理設備などについて点検
 - ・一定規模以上の地震及び大雨後の臨時点検
- ③ 管理事務所の除染
 - ・坂下ダム管理事務所の除染を環境省が行い、適正な管理を継続している。

(3) 今後の対応・計画

大熊町及び大熊町土地改良区で上記の点検を行います。なお、災害復旧などの対応については未定です。



(左) 坂下ダム堤体、(右) インクライン脇被災箇所 (H24.11月撮影)